



# 保健センター事業紹介

## PART7

～シリーズ第7回目は、母子保健事業の紹介です。  
今回は、「あそびの広場」と「親子ふれあい教室」をご紹介します～

相談でき、遊べる  
交流の場となっています。

### ★親子ふれあい教室

町では毎月1回、0歳児と保護者の方を対象に親子ふれあい教室を行っています。

内容は、手遊び、赤ちゃん体操、テーマ遊び、育児相談となっております。またスタッフは保育士と保健師です。

毎月16組程度の親子が参加しています。初めて参加しても、すぐに馴染むことができ、「楽しかったです。次回も参加したいです。」という声も多く聞かれます。また親子ふれあい教室がきっかけとなり、ママ友達ができたという声もあり、母親同士の交流の場にもなっています。



教室の後半では保育士と保健師が育児相談をおこなっています。育児について困った事はあるか集団でいる時には聞きづらくても、個別に雑談形式で話していると質問や相談が多く出てきます。母親達からは「ちょっとした事でも相談できるから、本当にありがたいです」などの声が聞かれ、相談後は安心した表情で帰られています。

また、この教室開催前に予約制の育児相談を実施しています。育児やしつけ、落ち着きがない、友達と遊べない、ことばや話し方、発達に気になる、その他、子育てに関するさまざまな相談を受けています。

広いスペースが安心  
日々の気分転換にも。

### ★遊びの広場

保健センターの2階「母子相談室」を保健事業で使用しない日は、乳幼児と保護者の方のふれあいの場「遊びの広場」として開放しています。

遊びの広場は広々としたスペースになっており、おもちゃや絵本がありますので自由に子どもをあそびせる事ができ、他のお子さんとの交流の場ともなっています。仲間同士で集まることもできます。

利用者は1日平均8～9組です。多い日は20組を超えることもあります。利用者からは「はいはいをさせるスペースが広くて練習させられる」という声や、「自宅では物が多く遊ばせるにも目が離せないの、ここなら遊ばせやすい」という声が聞かれます。また、日々の育児で大変なお母さんの良い気分転換にもなっているようです。

絵本の読み聞かせのボランティア「赤とんぼの会」の協力もあり、月1回、絵本の読み聞かせも行われています。(開催日は広報の他、あそびの広場出入口にあるボードにも掲示してあります)

